

主の祈り (93-5A)

天にまします われらの父よ
ねがわくは、み名をあがめさせたまえ
み国をきたらせたまえ
みこころの天になるごとく、地にもなさせたまえ
われらの日用の糧（かて）を、今日もあたえたまえ
われらに罪をおかすものを、われらがゆるすごとく
われらの罪をもゆるしたまえ
われらをこころみにあわせず、悪よりすくいいだしたまえ
国と ちからと さかえとは、かぎりなく、
なんじのものなればなり

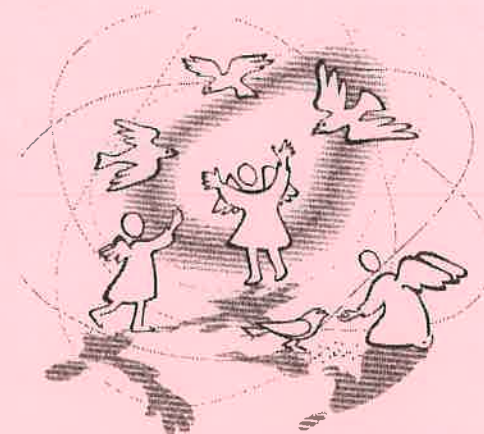
アーメン

石巻栄光教会宣教基本方針

石巻栄光教会は、主なる神と出会イイエス・キリストの体です。神様が愛している一人一人のかけがえのなさを思い出し、この世界を神様が大切にしていることを思い出す場所です。石巻栄光教会は、希望を生み出します。

私たちは、この社会の現実の中で生きています。教会の中だけでの満足にとどまらず、社会に生きる人々の痛みや苦しみ、あるいは楽しみを共にしていくこと、そして、悩みや不安を分け合って喜びに変えていく教会になることを願います。

また、一人一人の生き方を尊重するとともに、神様から一人一人に与えられている賜物を活かして、神さまと人を愛し、感謝しながら地域に仕えていく教会を目指します。



日本キリスト教団 石巻栄光教会

〒986-0854 石巻市大街道北2丁目12-3

電話/FAX: 0225-22-4090

ホームページ: <http://tohoku.uccj.jp/i-eikou>

メール: i-eikou@tohoku.uccj.jp

振替口座: 02280-8-2810

教会創立: 1887年9月25日

集会案内

聖日礼拝	毎週日曜日	午前10:30
早朝礼拝	毎週日曜日	午前7:30
交わりの会	毎週日曜日	礼拝後
み言葉と祈りの会	毎週水曜日	午後7:30

2024年度標語 『これは、人の意志や努力ではなく、
神の憐れみによるものです』

- ◎ 聖日礼拝を共に守りましょう。
- ◎ 日ごと聖書に聞き、祈りましょう。
- ◎ 家族・地域に福音を届けましょう。
- ◎ 平和を創り出すために働きましょう。

No.2494		2025年10月12日	
主日礼拝式順序			
		受付 司会 献金 奏楽	礼拝当番は 礼拝堂に集まった人の中で 可能な方に担当いただきます。
前 奏			
招きの言葉	[2] 詩編第29編2節	司会者	
讃 美 歌	38	一 同	
子どもたちへの話			
祈 り		司会者	
聖 書	第一ヨハネ 5 章 4 節		
	(新約聖書 4 4 6 ページ)		
讃 美 歌	419 (1～2節)	一 同	
お 話	「世に勝つ勝利」		
		川上直哉 牧師	
讃 美 歌	419 (3～5節)	一 同	
献 金		一 同	
報 告		司会者	
讃 美 歌	91 (1節)	一 同	
祝福の祈り			
後 奏			
*当教会では 着席のまま礼拝を守っています。 *旧約聖書は前半(P.1502まで)、新約聖書はその後ろです。 *献金の額はいくらでも結構です。持ち合わせがないときは次の機会に。			
∞○∞○∞○∞○∞ お知らせ ∞○∞○∞○∞○∞			
10月26日(日)は、日本基督教団東北教区宮城北地区デーです。 この日の礼拝献金は、教区の宣教共働連帯献金として捧げられます。			
9月3日に、礼拝堂屋根・外壁補修の支援として、 日本基督教団東北教区宣教共働委員会より957,100円の支援金が譜込まれました。			

∞∞∞∞∞∞ 今週の集会 ∞∞∞∞∞∞	
☆ 「初心に帰ってマルコ福音書を読む」	10月14日(火)14:00～ オンライン併用
☆ 「御言葉と祈りの時」	10月15日(水)19:30～ オンライン併用
∞∞∞ 次週の予告 (10/19) ∞∞∞	
☆ 主日礼拝 (お話：川上直哉 牧師)	
[聖 書] 第一ヨハネ4:21 [お 話] 「神を愛する人は」 [讃 美 歌] 39-6 433 91 [招きの言葉] 5	
受 付	礼拝当番は礼拝堂に集まった人の中で 可能な方に担当いただきます。
奏 楽	

次週礼拝後、役員会を行います。

∞○∞○∞○∞○∞ お知らせ ∞○∞○∞○∞○∞

❖今後の予定は以下の通りです

- ・10月19日(日)日本基督教団涌谷教会 礼拝担当(14時から)
※12日の予定でしたが、この日に変更となりました。
- ・10月26日(日)中澤先生が10時半からの礼拝を担当
- ・11月2日(日)永眠者記念礼拝・墓前礼拝
- ・11月9日(日)礼拝堂で聖餐式
- ・12月7日(日)柴宿教会で礼拝奉仕(14時半から)

《 先週の集会統計 》			
聖日礼拝	9人	み言葉と祈りの会	6人
早朝礼拝	3人	聖餐式	5人
月定献金		特別献金	
山口美紀子 (10・11月) 川上恵 (9月) 小杉澄子 (10月)		小杉澄子 (聖餐式感謝・誕生日・会堂修繕)	
席上献金	¥7,300		

週報別冊

2025 年 10 月 9 日号

1. 教会宛に、以下の通信が届いています。

【日本基督教団石巻栄光教会関係】

- 「「神学校日献金」のお願い」（全国同信伝道会神学教育後援会）：「同志社大学神学部・大学院神学研究科の教育活動の支援活動と、教職となった方々の研修補助事業」のための献金の要請を頂きました。

【日本基督教団・東北教区関係】

- 「良き日のために」（日本基督教教団部落解放センター）：「ブックレビュー『部落フェニズム』」（活動委員 愛金さん）等が掲載されています。
- 「学報」（農村伝道神学校）：「鶴川学院の理事長に就任して」（日本基督教団 鶴川教会牧師 瀬戸英治さん）等が掲載されています。

【その他教会・団体関係】

- 「ともしび」（福音文書印刷センター 愛隣社）：「心に響く三浦綾子の言葉より」（三浦綾子読書会 相談役 森下辰衛さん）等が掲載されています。
- 「共助」（基督教共助会）：「説教：友よ、歩み出そう。キリストが待っておられる」（日本基督教団小高伝道所・浪江伝道所 牧師 飯島信さん）等が掲載されています。
- 「SINAPIS」（カトリック大阪高松大司教区社会活動センター）：「大日本帝国が朝鮮半島を植民地にし、朝鮮人を強制動員した事実を『なかった』ことにしようとする」ことに抵抗する文書「長生炭鉱の史跡から 83 年を経て遺骨発見」（フリーライター 大元麻美さん）や「すべてのいのちを奪う月間——ジェノサイド・ビジネス」（シナピス運営委員 西口信幸さん）等が掲載されています。

- 「学習会のご案内」（WCRP 日本委員会）：「気候危機学習会」（10 月 10 日 14 時～オンライン）、「女性部会主催 宗教別学習会 対話プログラム 戦後 80 年の沖縄から 命を見つめ、女性と宗教の声を未来へつなぐ」（10 月 24 日 10 時～日本聖公会沖縄教区センター／オンライン）、「宗教者と科学者の対話～戦後 80 年を迎えて」（11 月 8 日 14 時～東京大学）、「人身売買禁止タスクフォース主催 人間の尊厳を考える円卓会議 2025」1 月 19 日～都内・オンライン、の 4 つの催事のお知らせを頂きました。
- 「支倉常長ローマ教皇謁見 410 周年記念シンポジウム 慶長遣欧使節・支倉常長の教皇謁見とその時代」「プレイベント」：11 月 22 日（土）午後 1 時～4 時に、東北福祉大学仙台駅東口キャンパス 62 教室（6 階）で、国際シンポジウムが開催されます。川上牧師も実行委員として関わっています。そして、10 月 31 日（金）午後 6 時半から、YMCA 石巻センター（園舎 2 階）にて、平川新さんの小さな講演会が行われます。どちらもオンラインでも参加できます。

2. 牧師動静

10 月 6 日（月）～7 日（火）

「日本聖書神学校 同窓会 東北支部宿泊研修会」に講師として出席しました。

10 月 8 日（水）

日中、教会で執務し、夜、祈祷会を主宰しました。

10 月 9 日（木）

午前中、一件の訪問をして読書会と聖餐式を行い、午後、福島県キリスト教連絡会放射能問題学習会で報告をし、夜、仙台宮城野教会で行われる合唱団「コロ支倉」の練習に出席しました。

10 月 10 日（金）

午前中、休暇をいただき、午後、東北学院大学で二つの会議をした後、日本倫理学会のシンポジウムに登壇しました。

10月11日（土）

日中、教会で執務しました。

- 今週土曜日、午後 1 時半から、世界食料デー仙台大会がエマオで開催されます。「教会の外」あるいは「教会と教会の間」にあるクリスチャンの働きが「教会の中」を力づける。そんなことを確認する会です。川上牧師も、中澤宣教師も、渡邊さんも主催者側で参加します。どうぞ、覚えてお祈り下さい。

10月13日（月）

仙台でカトリック正義と平和協議会全国大会に参加しています。

10月14日（火）

午前中、宮城刑務所で教誨活動をし、午後「初心に帰ってマルコ伝を読む」会を主宰します。

10月15日（水）

日中、福島市で行われる「ふくしま YMCA」設立準備委員会に出席し、夜、祈祷会を主宰します。

10月16日（木）

日中、福島市で行われる東北管区教誨師連盟福島大会に出席し、夜、仙台宮城野教会で行われる「コロ支倉」の練習に出席します。

10月17日（金）

日中、休暇をいただき、夜、石巻広域ワイズメンズクラブの役員会に出席します。

10月18日（土）

午前中、エマオで「侍」読書会を主宰し（最終回です）、午後、同じくエマオで「世界食料デー仙台大会」を主宰します。

※牧師と面会をご希望される方は、どうぞ、ご遠慮なく教会のメール宛、ご連絡ください。上記日程を調整して、お会いしたく存じます。

すべてのいのちを奪う月間 ― ジェノサイド・ビジネス

シナピス運営委員 ^{にしぐさ}西口 ^{のぶみ}信幸

貧しい者を踏みつけ 苦しむ農民を押さえつける者たちよ。
わたしは、彼らが行ったすべてのことを いつまでも忘れない。
アモス書 8:4, 7

「すべてのいのちを守る」ための月間は、私たちニンゲンの愚かさを示すジェノサイドによって「すべてのいのちを奪う」月間になりました。天の国で教皇フランシスコは悲しんでおられるでしょう。なぜ世界がジェノサイドと知りつつ黙殺し続けるのか、それはジェノサイドがビジネスとして私たちの資本主義経済を支える存在になっているからです。人権第一と言いながら、自分の生活を支えるため、小さな我慢をすることもなく、ガザの人たちを踏み続けているのです。

<中略>

国連、国際社会はガザのジェノサイドをなぜ止められないのか？

その答えは証券取引所にあります。ずばり、「今」世界中が儲かるからです。

2年間続くジェノサイドはジェノサイド・ビジネスを成長性のある優良株に成長させました。日本の年金のお金も投資され、兵器産業を潤しており、投資家の買うビジネスを止める政権はありません。

9月18日 日経新聞 ― 間違っているのは学者か、市場か

ノーベル経済学賞受賞者、他はイスラエル経済の壊滅的打撃を受けるリスクの警鐘を鳴らした。しかし警鐘もどこ吹く風、イスラエル金融市場はトリプル（株、債権、通貨）高を謳歌している。



<中略>

私たちは今、どんな世界に住んでいるのでしょうか。非人間化された資本主義社会ではジェノサイドでさえビジネス構想を生み出して経済を潤し、私たちの物質的な生活に満足を与えます。私たちは言葉では寄り添うと言いながら、日常生活を大事にするため、関わりを持たないように目を閉じます。そして周辺に置かれた、声を出さない人を見ないようにして抹殺しています。これはガザだけではなく、2000年前のユダヤ人社会でもそうでした。イエズスが生まれた地のそば、ガザで今起きているのは偶然ではありません。神さまからのメッセージです。